

西江大学校 春期語学研修(・▽・)♪✦。

2010 年度

明治大学 情報コミュニケーション学部

4 年 10 組 2 番 五十嵐 麻里亜

■授業について

・私は韓国語についてまったくの初心者だったため、ソガンでの授業がすべて韓国語で行われるということに非常に不安を感じていました。ところが実際に授業に出てみると、細かい言葉はわからなくても先生の指示が理解できるような工夫（身振りや繰り返し）が多々あり、また同じクラスの学生が自分と同じレベルだったのでお互いに助け合いながらみんなで参加していくという流れができていて、韓国語のみの授業進行でも全然問題はありませんでした。

・授業は、教科書を熟読したり講義を聞くのではなく、学生同士で何度も何度も会話練習をしたり、ゲーム形式でフレーズや単語を覚えたり、といったグループワーク中心でした。そのため、先生一人が授業を進めるというよりも、学生一人ひとりが授業に“参加している”という感じが強かったと思います。また、授業の中でカードやイラストも多用されていて、フレーズや単語を覚えるのに役立っていたと思います。

・毎日の流れが Writing／Speaking／Listening／Reading の授業を通して、同じ単元を繰り返し学ぶ構成なので、知識が定着しやすかったです。一時間目の Writing では前日までの復習をするので、毎日の授業内容が自然に繋がりを持つようになっていました。

・文法をじっくり学んでいくというよりも、どんどん口に出して覚える、また日常生活で使えるものから練習できるような授業内容だったので効率がよかったです。授業で学習した内容を毎日の生活の中で実践し、生かすことによって、韓国語を使うことに対しての壁が無くなり、自信をつけられました。

・クラスが様々な国籍を持つ学生で構成されているので、授業内外を通して国際交流ができたのが本当によかったです！！また、自分以外が全員他国民なのではなく、日本人学生も一緒だったので毎日の会話面でフラストレーションを感じすぎない（日本語でも話せる人がいる）のが心強かったです。（クラスの日本人学生とは初対面だったのに、親友レベルまで仲良くなることがで

きました！)

■生活について

・自分だけ別の場所に移動したからかもしれませんが・・・とにかく自由で、拘束されることなく自ら進んで行動ができたのがよかったです。単に韓国語を学ぶだけではなく、自分で責任がとれる範囲で、行きたいところ、やりたいことにはどんどん足を伸ばして韓国の文化・生活を体感できたので、研修に参加した意味が強まったと思います。

・授業が朝早く始まることで毎日の正しい生活リズムが作れました。また授業はお昼過ぎには終わり、そのあとが自由時間だったので、クラスのメンバーとご飯を食べたり、いろんなところに行くことができ、授業が終わってからも毎日すごく充実していました。

・大学に紹介してもらった西江大学校の学生と非常に仲良くなることができたので、彼女と私のクラスの友達を交えて遊びに行ったり、韓国の文化を紹介してもらったり、と一つの出会いから様々な出会いや経験に拓けることができました。

・私の場合、新村内の寄宿舎に移動したため、寄宿舎に住んでいる他大学の学生とも知り合うことができました。寄宿舎内で食事会や飲み会も頻繁に行われているので、学校でも家でも人との交流が盛んな日々を送れたと思います。また、寄宿舎の世話人の方がものすごく親切で、最初から最後まで非常にお世話になりました。

■特に良かったこと

・紹介していただいたエクスチェンジの相手や彼女の友達、寄宿舎の管理人の方、そこに住んでいる韓国人学生との出会いがあったことで、韓国語を学んでいる外国人学生だけではなく、韓国人との交流ができたので、リアルな韓国体験ができた点。

・多国籍クラスなので、韓国語だけでなく英会話の時間が非常に多かった点。(個人的ですが、卒業後の自分の仕事に英語が関係しているので有り難かったです。)

・クラスのメンバーに恵まれ、今後も付き合える友を得られた点。(私だけ先に帰国するので、サプライズで送別会までしてもらえました。)

■最後に

今回の研修は「韓国語初心者でも参加できる」ということで、学生最後の春休みを通して韓国語に新たに挑戦してみるつもりで参加を決めました。

実際参加してみて大変なこともありましたが、多くの素晴らしい出逢いと経験を得られる本当に貴重な 25 日間でした。ここで学んだことを今後の自分の糧になるように繋げていきたいです。





